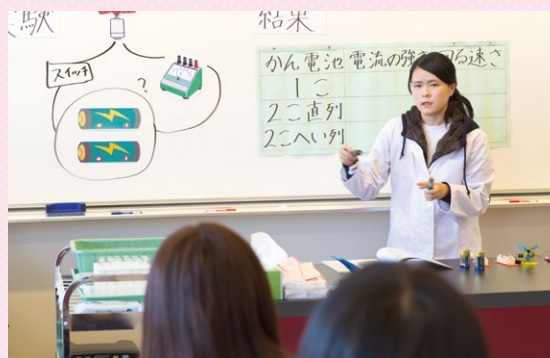
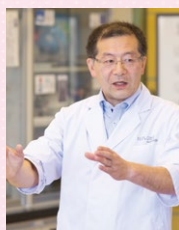


子ども教育通信

教えるチカラが 身に付く授業 理科教育法



児童自らが、
論理的に理解するように
導く。



子ども教育学科
西出和彦
准教授

小学校3～6年で学習する理科の授業内容について学生ひとりひとりが授業を分担し、学習指導案を作成して模擬授業に臨みます。指導のポイントとしては、「教える」、「促す」、「聴く」、「説明する」の4つ。どれに偏っても好ましくありません。大事なのは、課題・実験・観察・結果・考察という流れの中で、いかに児童自身が論理的に理解できるようにするかです。教え込むのではなく、実験結果から、「だからこうなるのか」と納得できるように進めることが求められます。今回の授業のテーマは4年生で学習する『電気のはたらき』。目には見えない電流の強さを“モーター（プロペラ）の回転速度”で表します。実験結果（事実）に基づきながら結論を導き出してもらうことが肝心です。



先生と児童、両方の視点で
ポイントを見つめられる。

子ども教育学科2年

矢戸 朔 | 勝山高校出身 |

模擬授業をすることで、効率的な実験（授業）の流れや、注意すべきポイントがよくわかります。また、先生側と児童側という両方の視点が体験できるので、自ら考えることを促す「伝え方」についても、より良い言葉遣いや表現方法とは、どのようなのかについて、考え、学ぶことができます。



TOPIC

“科学実験室”
完成。

科学実験室ができたことで器具などの集中管理が可能になり、模擬授業の完成度も向上へ。設備的な充実が、小学校の理科教育について自信を持って取り組める環境をつくれます。



子ども教育学科 大活躍レポート!

日頃の学びがつくる、大学祭のイベント。

フィールドワーク あつまれ! 6つのアトラクション ちびっこおうこく

大勢の人が集まる大学祭のイベントの一つとして、2年次の授業「フィールドワーク演習」の発表会が実施されました。4月より、6班に構成してそれぞれがアトラクションを発表。来学した多くの子どもたちにも楽しんでもらえました。

**大変だったけどこだったアイデア。
仲間といっしょに達成感を味わえた。**

子ども教育学科2年 宮川 瑞希 | 武生東高校出身 |

『ねずみちゃんのパンケーキ』のリーダーを務めました。この展示は、見開きごとに様々なシーンが描かれている大型絵本の前で、子どもたちに参加してもらいながら物語を展開していくアトラクションです。教室内に隠された材料を探したり、絵本に飾り付けしたり等、ページ毎にこだわって作った多彩な仕掛けに、子どもたちも喜んでくれていました。



ミュージックタイム

ねずみちゃんのパンケーキ



プーさんと
ゆかいななかたち
~ちいさなだいぼうけん~



えほんでカレンダー



かみゆきとこうさくたいけん



みんなのえんにち

地域イベントで、子どもたちをハッピーに!

ものづくりフェスタ

「ふくいのものづくり」をテーマに県内学校や企業、団体が連携し、子どもたちに科学やものづくりへの関心を深めてもらう夏休み恒例イベントに参加しました!ゼミ生とボランティアサークルすまいる工房のメンバーで『ビー玉で不思議なおもちゃを作ってみよう!』という体験型の企画を実施。2日間で200組以上の子ども連れのお客様に楽しんでもらいました。

**オリジナルの遊びを、
子どもの目線に立って追求!**

子ども教育学科3年 小林 桃子 | 羽水高校出身 |

楕円形のケースにビー玉を入れたおもちゃを作る体験コーナーです。子どもたちには、用意した厚紙の切り抜きを組み立て、表面に絵を描いてもらいました。子どもたちの年代によって異なる対応が興味深かったです。また、実習へ行く前に実際に子どもたちに触れ合うことができ、自信が付きしました。



今年も、ホームカミングデー開催!

大学祭期間中の恒例行事として例年開催しています。今回は卒業生約20人が来学。在学生からの質問に答えたり、先生とのトークを楽しみました。卒業生・在学生それぞれにとって、新しい一歩を踏み出すための良い時間となってくれたら幸いです。

